

# GELGUGG-J

## MS-14JG



機動戦士 **ガンダム0080**  
MOBILE SUIT  
GUNDAM 0080

ポケットの中の戦争

© 創通エージェンシー・サンライズ

ORIGINAL  
VIDEO  
ANIMATION

6

1/144 MS-14JG「ゲルググJ」

BANDAI 1989 MADE IN JAPAN

BAN  
DAI



# 注意

## 必ずお読みください

- 小さな部品がありますので、誤って飲み込まないように注意してください。窒息などの危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、小さなお子様には絶対に与えないでください。

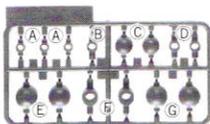
## 《組み立てる時の注意》

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった所があるものもありますが、気をつけて組み立ててください。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

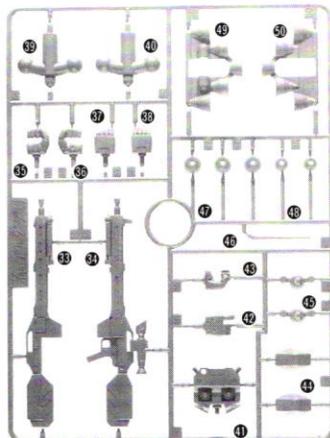
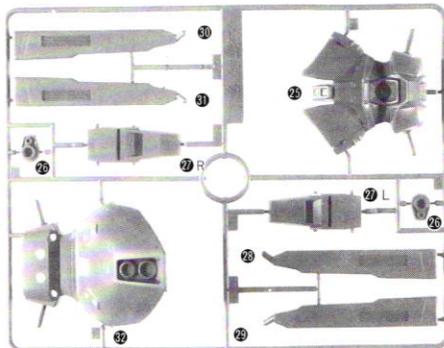
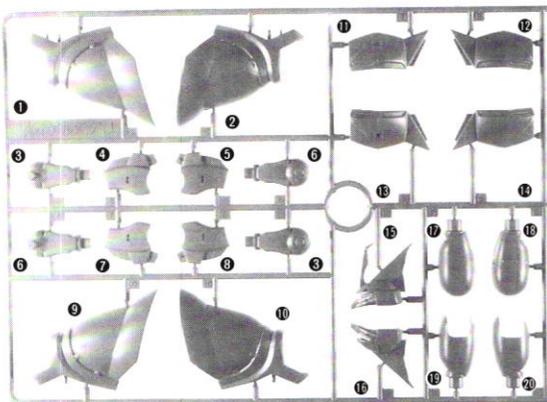
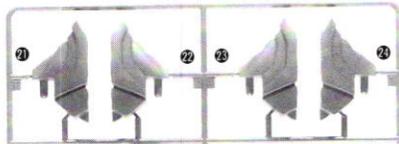
### 《パーツリスト》

● シール……1枚

〔使用材質〕<成形品> (スチロール樹脂:PS)、<ポリキャップ> (ポリエチレン:PE)



＜ポリキャップ部品＞



《お買い上げのお客様へ》部品をこわしたり、なくした時は「部品注文カード」に必要な部品の記号／番号／数量をはっきり書いて切り取り、郵便局で定額小為替をお買い求めいただき、封書（裏面に必ず、お客様のお名前、年齢、ご住所を明記してください。）にて下記までお申し込みください。代金は、部品代（1個40円×個数）＋郵送料（120円）です。為替証書は無記入（白紙）で同封してください。なお、部品の形状・重量で郵送料に過不足が生じることがあります。部品発送の際に120円を超える時は不足分を請求、120円以下の時には残額をお返しいたします。もし部品に不良品がございましたら、その部品を切り取り、商品名を書いて、下記まで封書にてお送りください。良品と交換させていただきます。

■申し込み先 (株)バンダイ静岡相談センター  
〒424-8735 静岡県清水市西久保305 TEL0543-65-5315

For Japanese use only.

部品注文カード 27548-700

1/144SCALE OVA 0800

ゲルゲグJ

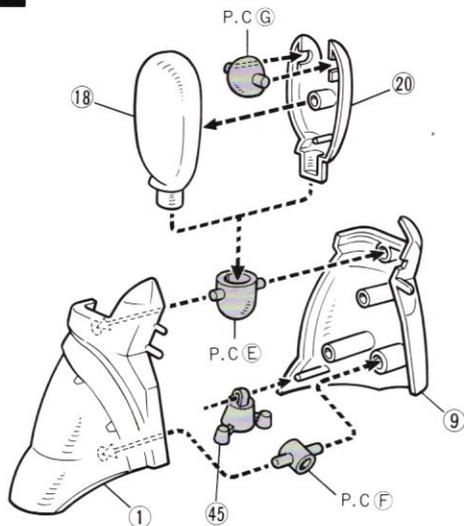
必要な部品の記号・番号・数量を書く

● 注文された理由 (○で囲む) (こわした・なくした)

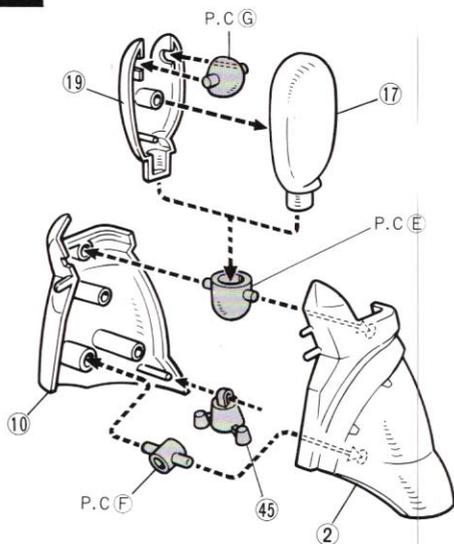
日中ご連絡可能な電話番号 ( )

**1**

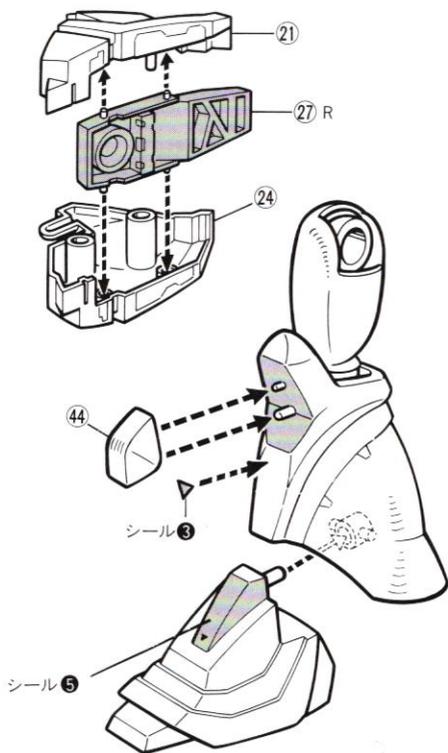
《右脚の組み立て》 P.Cは、ポリキャップ部品

**2**

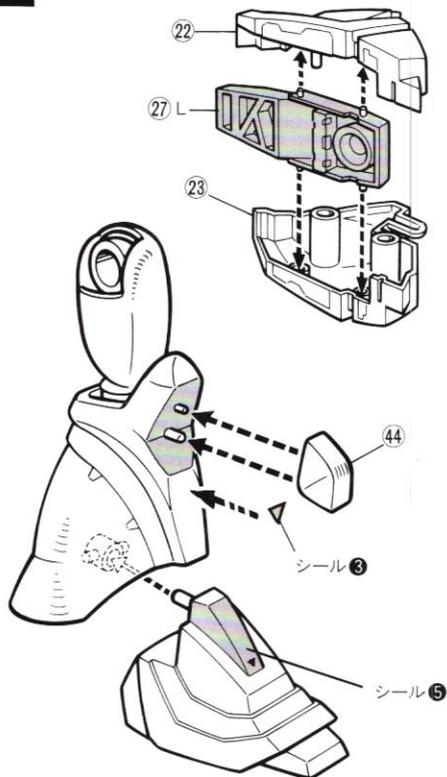
《左脚の組み立て》

**3**

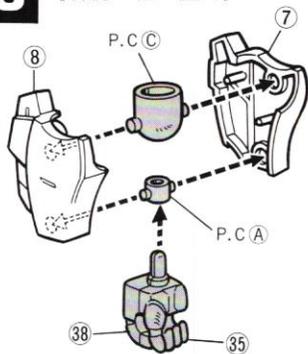
《右脚の完成》

**4**

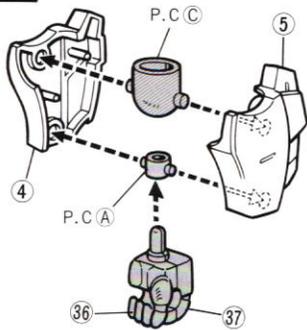
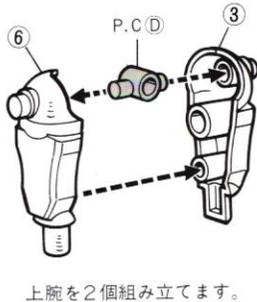
《左脚の完成》



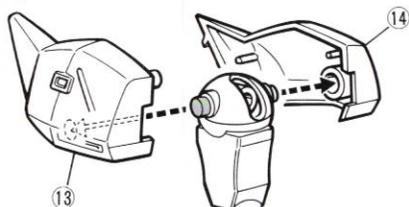
## 5 《右腕の組み立て》



## 6 《左腕の組み立て》



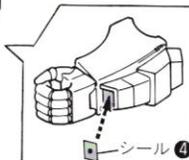
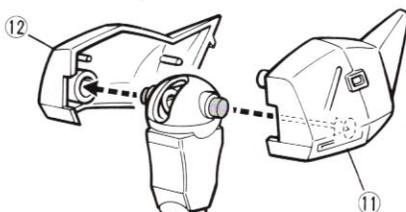
## 7 《右腕の完成》



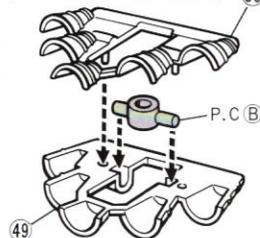
※腕の外側にシール④をはります。



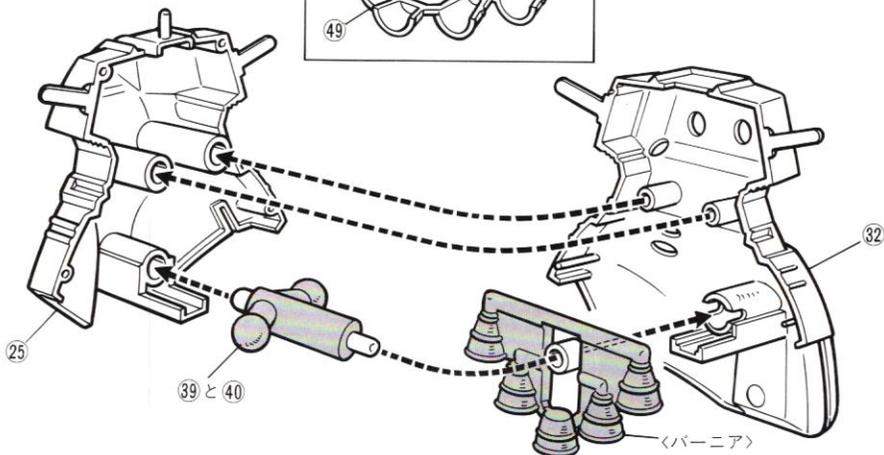
## 8 《左腕の完成》



### 《バーニアの組み立て》



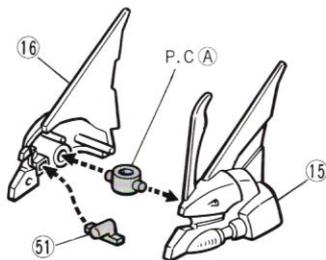
## 9 《本体の組み立て》



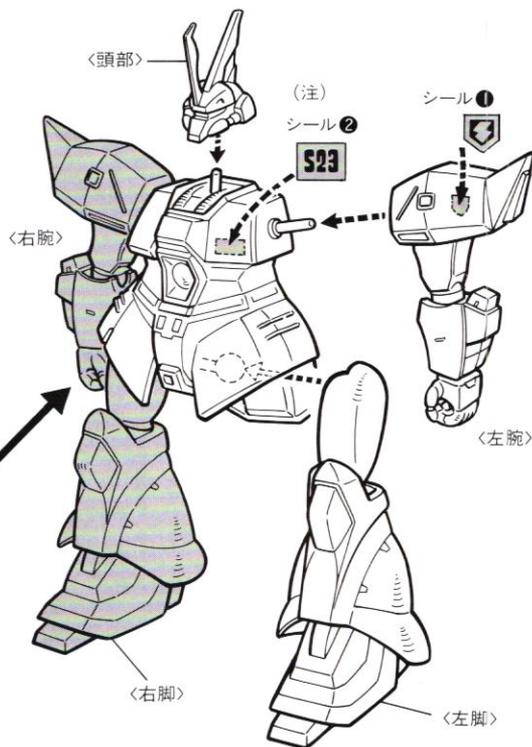
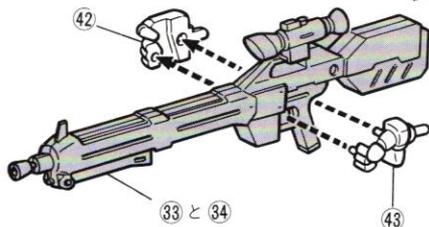
## 《本体の完成》

(注) シール②は、オプションシールです。  
好みに応じてはってください。

## 《頭部の組み立て》

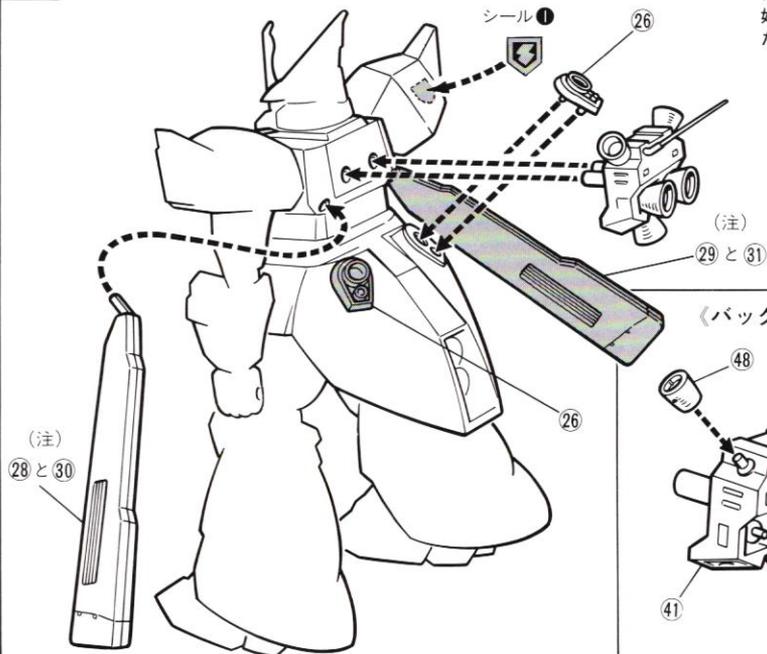


※右手は、ビームライフルの手と  
交換できるようになっています。

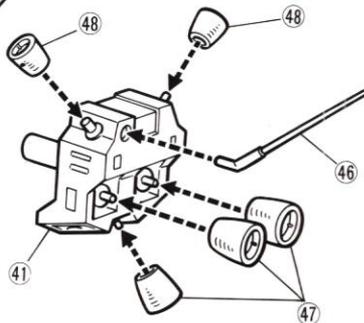


## 《バックパックの取り付け》

(注) プロベラントタンク②⑧～③①  
は、オプション部品です。  
好みに応じてとりつけてく  
ださい。



## 《バックパックの組み立て》



初期型にくらべるとモニターの視界はかなり良くなっている。

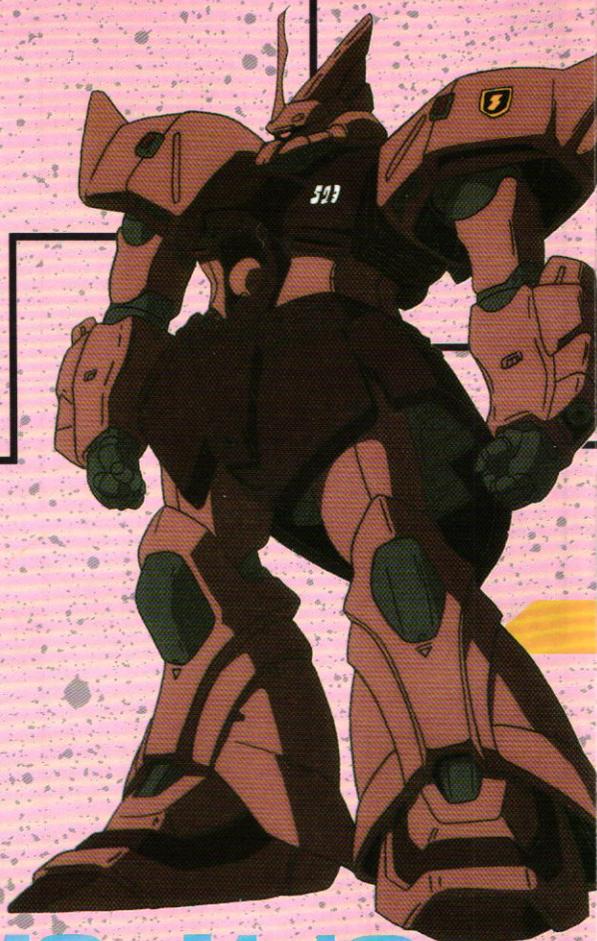


HEAD

プロベラントタンクは本体に直接装着する。また、レーザー通信用のアンテナを装備している。



BACK PACK



## 配備状況

一年戦争当時のジオン系量産MSのなかで、もっとも優秀な性能を持っているのがこのゲルググシリーズである。大戦末期に配備が始まったため、大きな戦果は上げられなかったが、この機体の量産があと一ヶ月早ければ連邦の敗北は必至だったともいわれている。おもに宇宙用として開発されたこの機体は、各主力艦隊に配備されており、とくにソロモン攻略戦以降の重大な戦局で十分な働きをしている。また、地上用としても小数が生産されており、主戦場が宇宙に移行してからのちのアフリカ戦線などに、補充用などとして配備されている。現地改造による砂漠用のバリエーションなども数機が確認されている。

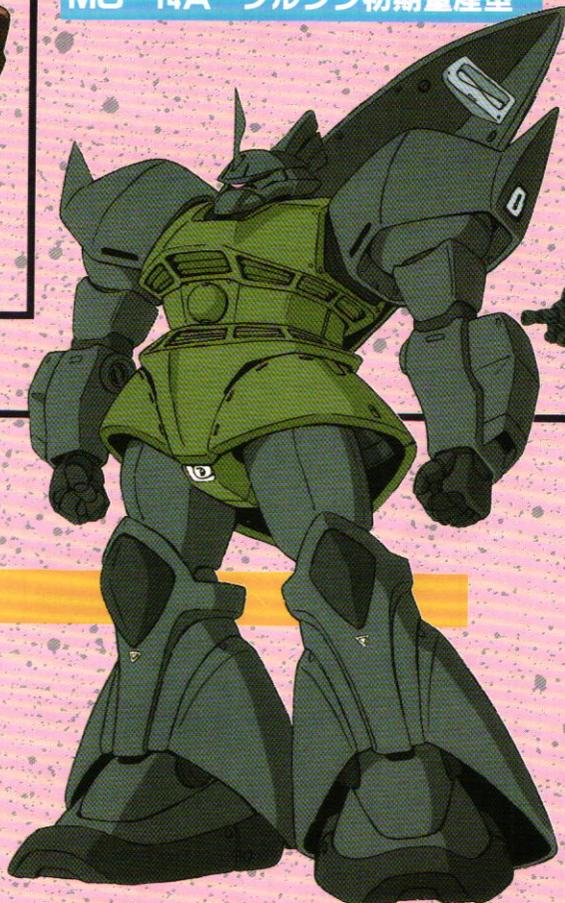
# MS-14JG GELGGO

ジオン軍の最終量産機となったMS-14は、若干ながらバリエーションが生み出された。機能的に異なったものとしては、砲撃戦仕様のO型がある。そして、ほとんど終戦直前という時期ではあったが、狙撃型のJG型が完成する。JG型には、新型ジェネレーターをさらにチューンナップしたものが搭載された。このため、さらに強力なビーム兵器を使用することが可能となっている。また、姿勢制御用のアポジモーターを増設、機動力を向上させている。アポジモーター数は、末期生産のモビルスーツの中でもすばぬけており、このことからJG型の機動力が高いかが理解できるというものだ。さらに、JG型にはバックパックに長時間行動用にプロベラントタンクを装着することができる機能が加えられている。プロベラントタンクを装着することにより、通常状態よりも200%近く長い時間行動することができるようになった。こうして、JG型は初期型のM

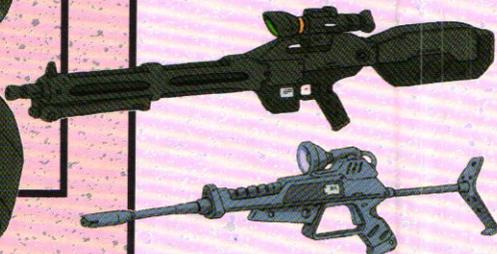
## MS-14A ゲルググ初期量産型

ARM

近接防御用のビームスポットガンを開発中であるが、現在はまだ完成していない。



WEAPONS



JG型には、初期型の通常装備のビームライフルの威力を増したビームマシンガンが用意された。パルス状ビームを連射可能で破壊力が高い。



MS-14に搭乗したパイロットたちの中には破壊力と信頼性の相まったジャイアントバズを使用する者も多かった。



サク用として開発されたスツルムファウストの使用も可能である。

## ゲルググ狙撃型

# DOG-J

S-14とくらべてもかなり高い性能を持つモビルスーツとして完成した。狙撃型として開発されたわけだが、総合的にも高い能力を示し、イエーガー（猟人）という異名をとるにいった。戦争末期にはこういった形の試作開発機が、そのまま前線に出ることもたびたびあった。これは物量的に劣る連邦軍に対する、質的勝利を考えた苦肉の策であったが、末期には歴戦のパイロットたちもかなり戦死しており、こういった最新鋭機を充分に使いこなせるパイロットも少なくなっていた。

### MS-14JG SPEC

●全高/19.2m ●本体重量/40.5t ●全備重量/80.3t ●スラスト一推力/21,000kg×5,24,500×3 ●装備/大型ビームマシンガン、プロペラントタンク、他

## 用語事典

### ビームサーベル

MSに装備される白兵戦用ビーム兵器の一種。ミノフスキー物理学の応用から生まれた技術で、基本的な原理はメガ粒子砲と同じである。MS本体のジェネレーターから供給される膨大なエネルギーを使っているため、絶大な威力を発揮する。だが、エネルギーの消耗が激しく長時間の使用には耐えられない。メガ粒子砲は、金属粒子を臨界まで圧縮したのちに照射するが、ビームサーベルは、メガ粒子の加速過程に発生する高速高温高圧の金属粒子を、グリップ部分から発生する超強磁界フィールド内に封じ込めている。一見、無敵に見えるが、フィールドなど特殊な装備で防ぐことも可能である。

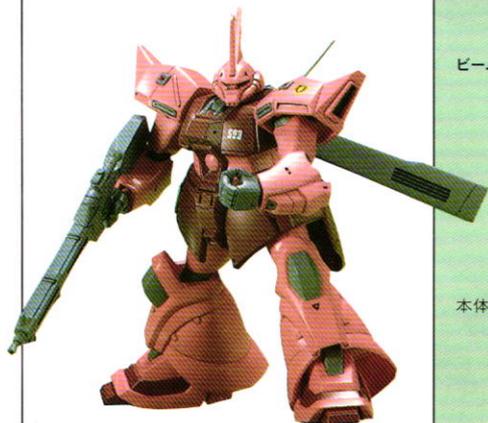
# PAINTING GUIDE

● 四色成形だから、めんどろな塗り分けはいりません。塗装しなくても、設定色のイメージの組み上りを楽しめます。

● もし全体塗装をしたい時は、右の写真を参考にしてください。塗料は、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

※シンナーを使用する塗料で塗装するときは窓をあけ、換気をよくし、火は使わないで、ください。

● このゲルググ・Jは、肩、脚、腕の各関節部がフリー可動になっていますので思いのままのポーズがとれます。

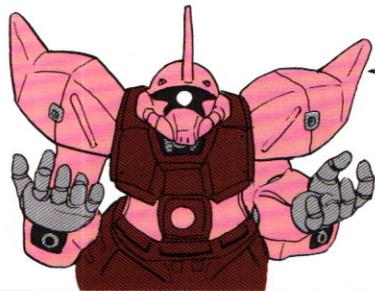
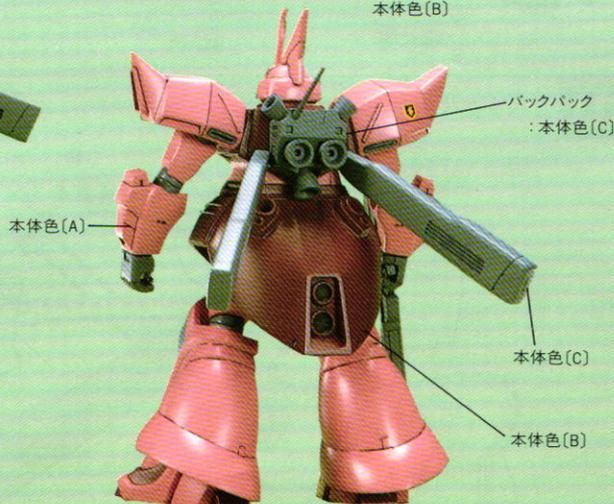
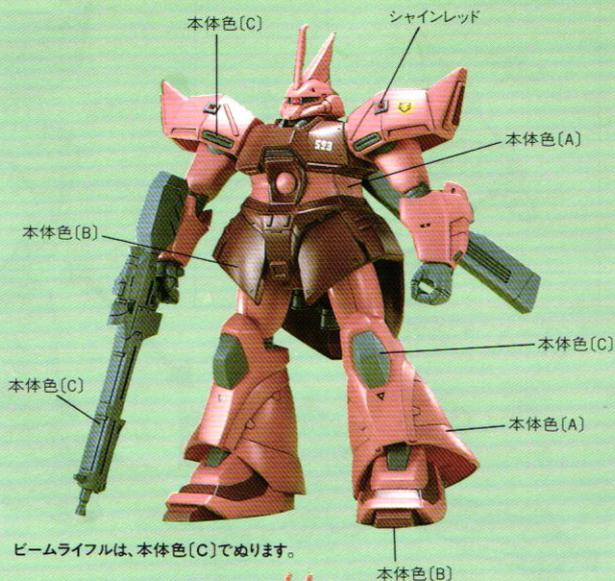


● この完成品は、塗装してあります。

本体色(A):ピンク+あずき(少量)をまぜてつくります。

本体色(B):あずき(50%)+艦底色(40%)+パープル(10%)をまぜてつくります。

本体色(C):ニュートラルグレー(60%)+ミディアムブルー(40%)をまぜてつくります。



おたよりを  
くださ〜い。

夢のある商品、喜ばれる商品を創るために、皆さんからの、たくさんのご意見、ご希望をおまちしています。ボックスアート、説明書、キットの作り方など、なんでも結構です。○・V・A機動戦士ガンダムシリーズは、まだまだ続きます。ご期待ください。

送り先: 静岡県清水市袖師町702 〒424-0037  
株バンダイ静岡工場 商品開発室